

- CLOSE UP / 今年も始動! 「ふじさわ男女共同参画ネットワーク協力員」
- 103万円の壁 ～働き方のいろいろ～
- ちょっと防災のこと
- 「声かけ」で見守る
- 藤沢市が「主婦が幸せに暮らせる街」1位に!
- 編集後記
- インフォメーション



かがやけ地球

男女共同参画って なんだろう??

男女共同参画チェックブック

「お父さんお母さん、お父さんもお母さんもお仕事して、お父さんもお母さんもお仕事して、お父さんもお母さんもお仕事して。」

家庭 家族にこんなこと 言ってない? 言われてない?

- 誰のおかげで生活できていると思っているんだ?
- 仕事をしたい? 家のことをちゃんとやるならいいよ。
- 男の子なんだから泣かないの!
- 女の子なんだからお手伝いしなさい。

その性別 であるという事を理由にした発言をしていませんか?
「男の子だから泣かない!」「女の子だから お手伝いをするというの!」
「男性は強くなければならない!」「女性は家事ができなければならぬ!」
という性別による固定的な役割の分担意識があるからだと考えられます。
性別にとらわれることなく、家族全員が協力し合える家庭を築きませんか。

職場 職場でこんなこと 言ってない? 言われてない?

- 早く結婚しないの? 子どもはまだ?
- 女はくち、重い身体して多わねー。
- 女の人の入ってもうお茶はおいしいなまよ
- 次の上司は女性なのか・・・やりにくいなあ・・・
- 男性が育児休業つと妻さんはなにしているの?

「男は仕事、女は子育て」という固定観念が、男女の役割分担を決定づけている場合があります。性別にとらわれず、お互いの強みや得意分野を活かして、協力し合える職場を目指しましょう。

地域 地域でこんなこと 言ってない? 言われてない?

- 町会会の会長は、やはり男性にやってもらえないと!
- 男は仕事で忙しいんだから、地域のことば女性や高齢者に任せておけばいいんだよ。
- 自分は近所の人とも昔年から関わりがないし・・・町会には参加しなくてもいいんだよ。
- PTA活動は子どもの事だし、母親がやるのが一番だ。

男女は地域活動でも、共に交流や協力し合える関係を築くことが大切です。性別にとらわれず、お互いの強みや得意分野を活かして、協力し合える地域を目指しましょう。

チェックがつかないまちを目指しています!

男女で共に創ろう豊かなまち「湘南ふじさわ」

発行:共に生きるフォーラムふじさわ実行委員会
藤沢市立図書館 人権男女共同参画センター
〒252-0288 藤沢市川崎区新田町1番地1号
電話:0463-310-1111(内線)

CLOSE UP!!

今年も始動!

「ふじさわ男女共同参画ネットワーク協力員」

藤沢市には、「ふじさわ男女共同参画ネットワーク協力員」(以下、「協力員」とする)という男女共同参画の推進に関する普及活動を担う市民ボランティアがいる。協力員は全市で39名。市内13地区の自治会や民生委員児童委員協議会、青少年育成協力会、社会福祉協議会などの地域団体の中から、各地区3名ずつ選出されている。任期は2年(再任可)。平成18年にこの協力員による活動がスタートし、今年で5期目になる。主な活動は、年2回の会議や研修会の参加と地域における啓発である。

7月29日、今期第1回目の「ふじさわ男女共同参画ネットワーク協力員」会議が開催された。前半の会議では、担当課である人権男女共同参画課から「ふじさわ男女共同参画プラン2020」がめざす将来像と基本理念、重点目標が示され、協力員の活動についての説明がなされた。後半の研修会では、県立かながわ女性センター職員を講師に「男女共同参画の現状と取組みについて」と題した、男女共同参画の基本や目的、歴史や課題などの講義が行われた。



地域での活動に、毎年秋に各地区で開かれる公民館まつりで、ウエットティッシュなどの啓発グッズを来館者に配布するという任務がある。昨年まではDV防止についての啓発だけだったが、協力員との意見交換の中で、男女共同参画の基本についてを地域で啓発すべきではとの提案があり、今年は男女共同参画についてのリーフレットを新たに共に生きるフォーラムふじさわ実行委員会で作成、発行されることになったという。これが非常に良くできてい



る。手に取った人が地域、家庭、職場で「こんなことを言っていない?」「言われていない?」かどうかのチェックブックになっている。(表紙参照)

このリーフレットは地域団体に所属する協力員が、男女共同参画についての理解を深め、地元で促進することによって生まれた好例であろう。先の会議でも、この意識啓発活動に対し、協力員から積極的な意見や質問が交わされていた。

今年3月に報告された藤沢市の男女共同参画に関する意識調査の中でも、今後男女があらゆる分野でより平等になるためにもっとも重要と思うことは、「男女を取り巻くさまざまな偏見、固定的な社会通念・慣習・しきたりなどを改めること」というのをあげる人が41.9%と最も多かった。性差別は日常の中にひそむ。身近な地域から男女共同参画の推進に貢献する協力員の活躍を今後も期待したい。

(有田 記)

103万円の壁

働き方のいろいろ

共働きが当たり前ようになって久しいが、女性たちの働き方は必ずしもひとつではない。若者の就職難の時期も長く続いている。

会社員、公務員などというだけではなく、ネットなどを利用した、自らの力で、ひとりあるいは、数人で会社を設立し活動している若者も多く見られるようになった。

しかしながら、子育て、家事、介護に追われ、パートで働く人々も当然たくさんいる。

安倍首相が女性の就労促進を狙いとして、「女性の就労拡大を抑制する効果をもたらす税・社会保障制度の見直しや働き方に中立的な制度について検討を」と述べた。

夫の所得税計算時に配偶者控除を受けるには給与所得、38万円以下が条件だ。



「給与所得 = 給与収入 - 給与所得控除」

38万円以下というのはこの給与所得の金額だ。給与所得控除は給与収入が180万円以下の場合40%で最低額は65万円、それに誰でもが受けられる基礎控除38万円を加えた103万円が、よく言われる、配偶者控除が受けられ、所得税のかからない壁なのだ。

しかし、103万円を超えても本人に所得税は発生するが、141万円までは配偶者特別控除がある。段階的に額は変わるが、控除もあるので夫も一応は減税される。それが141万円の壁だ。

ただし、141万円の手前にもうひとつ130万円の壁がある。130万円以上になると、夫の扶養から外れ、社会保険料、年金も自身で支払うことになる。

パートでも1日、あるいは1週間の労働時間、また1か月の労働日数が正社員の概ね3/4以上の場合、130万円未満であっても夫の扶養から外れる。

市県民税がかかるのは100万円以上だが、収入が増えることからすると負担感はどうだろうか。103万円の壁を破って所得税を払っても、収入増と税額を考えると頑張る価値はあるかも知れない。130万円の壁も年金は老後の自分に返るものともいえる。

130万円、141万円を超えそうなときは、思い切って正社員への道へ踏み込んでいくのも一つの方法だろう。現在の状況では、少子化で年金制度にも不安はあるが、社会へ向ける女性の確かな目を増やしていくためにも、じっくり考えて働き方も決めたいものだ。

しかし何より、そんな女性たちの働きやすい社会には、まだまだの感が強い。

産前産後の環境、子育ての保育施設の充実、親の介護の問題と、まず一番に解決してほしい問題は山積だ。女性を働きやすい社会に導き出すということは、

大きな目で見れば、男性にも、子どもにも、高齢者にも全ての人々に優しい、安心できる社会を作り出すということではないだろうか。



(甘粕 記)

ちょっと防災のこと



本屋さんに女性の視点から書かれた防災の本が何冊も並んでいた。気になったので読んでみた。まず気になったのは、東日本大震災の『被災ママ812人が作った「子連れ防災手帖」』という本だ。実際の経験談ほど役に立つマニュアルはない。本の中の10歳までの子どもを持つ母親へのアンケートで被災後2ヶ月目には自宅に戻ったという答えが一番多く、「半壊状態でも自宅がいい」「結局、片付けながら住んだ」など避難所生活が子連れにとって、とてもストレスの多い状態だったとあった。

何冊か読んで途中で共通して指摘されている問題点は、女性ならではのストレスがあること。それらは見過ごされがちなこと。子育て中の母親はさらに子どもが泣く、周りに迷惑をかけないかなどのストレスにさらされていることなどである。こういう経験は、避難所を設営する時点で今後活かされるといいと思った。



今年6月に藤沢市でも津波の被害を想定した『藤沢市津波想定CG』がインターネットで公開された。バーチャルとはいえ馴染みのある景色が津波に飲み込まれていく映像はかなりショッキングだ。漠然とした不安が実感として確認される。こんな速さで迫り来る津波から身を守るには、日頃からの

きちんとした知識に裏付けされた心構えが大切だ。ましてや子どもを連れて逃げなければならない状況を見ると、本当に真剣に万全の備えをする必要があると、思わず海際に住む友だちの顔が



思い浮かんだ。実際子どもが二人いたら、一人目の子を背負い、もうひとりの子の手を引いて、防災グッズを持ってはたして逃げおこせるだろうか。そういえば、阪神大震災を経験した友人

は子どもが小さな時、どんな時でも粉ミルク、紙おむつと最小限の子どもの着替えをリュックに詰めて背負っていた。

国崎信江さんは、著『地震からわが子を守る防災の本』の中で「どんなマニュアル本もそのままではなく自分の家に照らし合わせながら独自のマニュアルにすることが大切である」と言っている。自身のホームページの中で「我が家の防災マニュアル」を作成するためのフォーマットもダウンロードできるようになっている。

最近、住んでいるマンションで深夜に火災報知器の誤作動があり、同じ階に住む全員と同時に顔を合わせることがあった。ここに住んで15年が経とうとしているが、全員が同時に顔を合わせたのは初めてだった。近隣とのつながりが希薄だと感じたと同時に災害時のためにも周りつつながることこそが大切だと実感した。また日頃から男女共同参画意識を育てることこそ、災害時に子育て中の母親たちや女性が受けるストレスを軽減させることにつながると思った。

(川辺 記)

「声かけ」で見守る



声かけ事案という言葉を知っていますか？ 子どもや女性に対する声かけやつきまといにより相手に不安を抱かせるような行為を指すもので、都道府県のホームページでも不審者情報として発生状況などが公開されています。近隣で発生した際の学校から保護者への連絡も、迅速で詳細な行政によるメール配信サービスがある等、事件を未然に防ぐためこれらの情報は積極的に活用されています。

この夏も、声かけ事案に端を発する事件がいくつかありました。小さな子のいる我が家でもその都度言って聞かせたり日頃から一緒に考えたりするようにしているつもりではありますが、実際に危険な場面に遭遇してしまった子どもが果たして教えられているような行動をとることができるのか、見聞きする情報が増えるほどに不安は募ります。

一方で、子どもの生活をあらためてふり返ってみると、声かけ事案という言葉の危惧するものとは全く異なる、力強くあたたかい「声かけ」が子ども達のまわりに常にあることをありがたく感じずにはいられませ

ん。毎日どんな天候であっても通学路に立ち、旗振りをしてくれる人、見かけるたびに成長を喜んでくれる人、いつも様子を気にかけていてくれる人。日常的な「声かけ」は、受け入れられているという実感による安らぎを子ども達に与え、時には気の進まない一歩を踏み出す後押しにすらなるようです。

そういういつもの「声かけ」によって広げられたつながりはセーフティネットとして地域を見守る力になっていくものではないでしょうか。子どもたちに身に付けてほしい危険を察知する力、断る・逃げる・助けを求めるといった自分自身を守るための意識も、子どもであれ大人であれ、人との関わり合いを通じて培うものであると、「声かけ」の関係は教えてくれます。

おそらくは子育ての先輩方、あるいは人生を少し先行く方たちが種まき育ててくれたつながりを、ただ不安を覚える言葉として枯らしてしまうことにならぬよう、「声かけ」の関係を少しずつでも広げていきたいと思うのです。

(鈴木 記)



藤沢市が「主婦が幸せに暮らせる街」1位に！



雑誌『aene(アイーネ)』(株学研パブリッシング本年5月創刊)が行った調査「**主婦が幸せに暮らせる街ランキング**」で、**藤沢市が1位**となった。

この調査は、全国の20代から40代の主婦4,793人に行ったアンケートである。暮らし、家族、お金、食事・健康、モノ・趣味の5項目あり、藤沢市は、バランス良く、高得点を得た。特に、「暮らし」、「家族」は、藤沢市は、1位であった。

自然が豊かであるということ、子どもの医療費手当が充実していることのほか交通の便が良いので、通勤に便利であるということなどが要因となったようだ。

(大山 記)

編集後記

残暑は昔から言うように9月の彼岸までなのだろう。それにしても近頃の気象の変わりようはこわい。秋が恋しい。(甘粕)
残暑厳しい日が続いています。秋の虫の音も聞こえ始めています。暑さも今しばらくの辛抱です。(大山)
季節がいいので、線路沿いを歩くと碧空に大きく富士が見えた。藤沢は本当に素敵な街だ。景色もお店も人情も。(川辺)
チェックしてみると、草食長女とゼロメン夫になにげにハラスメント、してるかも～。反省。(有田)
毎朝スタンドアップパドルボードで気持ち良さそうに川を下って行く人たち。現代の(実在の?)一寸法師みたいであーやってみたい！
けれど実はかなり力があるのだとか。ダイエットにもってこい……。 (鈴木)

インフォメーション

2市1町(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)広域連携事業
共に生きるフォーラムふじさわ2014

講演テーマ
内容

「家事は誰がするもの?」
～『家事ハラ』から見えた!
HAPPYな生き方・働き方～」

講師

たけのぶ みえこ
竹信三恵子氏(ジャーナリスト)

とき

11月1日(土)
午後1時30分～3時30分(開場午後1時)

ところ

湘南NDビル6階 6-1会議室
(藤沢市藤沢109番地6)

定員

100名(申し込み順・無料)
※手話通訳・要約筆記・託児(2歳以上の未就学児)あり

申し込み・問い合わせ

電話、藤沢市ホームページ電子申請予約、ファクスまたはEメールに住所・氏名(ふりがな)・電話番号・託児希望の有無(希望する場合は10月16日(木)までにお子さんの名前(ふりがな)・年齢・性別)を書いて人権男女共同参画課へ。FAX:(24)5928【人権男女共同参画課 宛】



男女雇用機会均等法施行規則の 改正等が行われ、 平成26年7月1日に施行されました!

その中では、

- 職場におけるセクシュアルハラスメントには、同性に
対するものも含まれること
- セクシュアルハラスメントの発生の背景に、性別の役割
分担意識に基づく言動があることも考えられるため、
こうした言動をなくしていくことが重要であること
- セクシュアルハラスメントの相談対応に当たっては、
その発生のおそれがある場合や該当するかどうか
微妙な場合でも広く相談に応じること

などが明記されています。

詳しくは「厚生労働省」のホームページ等をご覧ください。

藤沢・茅ヶ崎・寒川 “湘南”がエリアのFM放送局



<http://www.radioshonan.co.jp>

STUDIO FAX No.0466-29-2121

かがやけ地球は、市民の編集員さんの
企画・運営によって、年4回発行しています。

編集スタッフ 川辺 裕子・大山 賢一・甘粕 保子・
有田 留美子・鈴木 悠子

ご意見・ご感想・今後扱って欲しいテーマなどをお待ちしております!

FAX 0466-24-5928

E-mail jinkendanjyo@city.fujisawa.kanagawa.jp

古書・アウトレット本 買取と販売

買取 ご不要なもの、お売りください。※一部、買取れない品もあります。
(買取品目)書籍・CD・DVD・ゲームソフトなど
お売りいただく際は身分証明書のご提示をお願いいたします。
アウトレット本と古書の販売 詳しくは、下記
ホームページで
お買得
稀少
発売後、読者の手に渡らず出版社に在庫されていた未読の本(アウトレット本)を
旧定価の20～80%OFFで販売します。他に珍品や稀少本など古書も扱っています。

藤沢駅(南口)前・有隣堂藤沢店5階
リブックス藤沢店 ReBOOKS 有隣堂
☎0466 26 1411(有隣堂藤沢店代表番号) ●ホームページ <http://www.yurindo.co.jp/>



健康保険組合連合指定
医療法人社団 藤順会 藤沢順天医院

◎藤沢総合健診センター
神奈川県藤沢市鶴沼橋1-17-11
Tel 0466-23-3211

人間ドック

定期健康診断

脳ドック

婦人科検診



藤沢総合健診センター

検索

知るは、治るの第一歩

天然ガスがひらく未来



次の世代の子どもたちのために、
いま、わたしたちが出来ること…
東京ガスは考えています。

天然ガスを使用した、効率的なエネルギー
システムの普及・拡大に努めています。また、
環境にやさしい暮らしやエコライフの提唱など、
環境コミュニケーション活動を推進しています。

<http://www.tokyo-gas.co.jp/>

TOKYO GAS